

教育改革のうねりを中国・四国から!

島教協

情報報

No.578

島根県教職員協議会
〒693-0011
出雲市 大津町2214
Tel 0853(22)7762
Fax 0853(22)7762
代表者 安達利幸
編集人 石原康博

E-mail
office@kyougikai.org
http://
www.kyougikai.org

全日教連

中四国ブロック会議開催

神在月、出雲に集う!

テーマ「組織の連携」



十月十三日(土)、十四日(日)、全日教連 中国・四国ブロック会議が本県出雲市を会場にして開催された。互いの資質向上と情報交換のために、島根、山口、香川、徳島、高知の各県から、多数の教職員が参加した。来賓には、県議会議員の佐々木雄三氏、雲南市教育長の土江博昭氏、出雲文化伝承館館長の和田貞夫氏、をお迎えした。

一日目、全日教連 田中秀年副委員長の挨拶ではじまった開会行事の中で、主管団体である島教協 安達利幸会長は、今回の会を「ルーティンワークに終わらせることなく、点から線、線から面へとつなげていきたい」と述べた。全日教連 宮竹事務局長からは、給与や免許更新制について「中央情勢報告」が行われた。講演会終了後に、参加者は古代出雲歴史博物館を見学、出雲大社を参拝した。二日目は、五つの分科会にわかれ、討議・情報交換を行った。

和田貞夫氏 記念講演

一日目には中国・四国ブロック会議記念講演として、出雲文化伝承館館長 和田貞夫氏が「日本人の美意識 くらしさを大切に育てる」と題して講演を行った。

和田氏は、県内公立学校教員を経て、島根県立教育センター、島根県教育庁学校教育課に勤務。その後、平成五年に出雲市立第一中学校校長で退職された。在職中に、島根県教職員協議会を結成され、日本教職員連盟の結成に参加し書記次長として活躍なさった。退職後は、出雲市教育委員長に就任。現在は出雲文化伝承館の館長として多忙な日々を送られている。

講演では、風土によって文化がつけられるということ、県民性の違い、茶器や庭園を例にとった美意識の違いなど、わかりやすく、深みのある話が展開された。

最後に、足下をかため、日本人としてのよさを身につけることが、他者への思いやりにつながることや、生まれ育ったふるさとを大切にすることを熱く語られた。



〔参加者感想〕

- ・スピードに追われ、事態の変化を追いかける生活の中で、忘れていた心、文化を思い起こすよい機会でありました。
- ・日本文化のすばらしさを今の子供たちに伝えていかなければと思いましたが。
- ・日本人らしさを教える大切さ、道の教育を今、学校に取り入れる必要性をあらためて考えさせていただきました。
- ・人には良いところと悪いところがあつて、良いところを伸ばしていくことが「らしさ」になるというお話、よかったです。

各分科会の様子

【組織連携・拡大分科会】

各単位団体の代表が組織連携について話し合った。今回は、ブロック会議の見直しが提案され、情報交換のみではなく、資質向上のために何ができるかという協議が行われた。

【幼稚園連絡協議会】

「小学校へのなめらかな接続について」というテーマで、話し合いが行われた。幼稚園からの積極的なアピールや幼小教職員の情報交換、幼稚園の教職員が小学校の授業に参加をする例、小学校教諭が幼稚園で一年間研修を行う例など、地域の実態に応じた実践が紹介された。

【特別支援教育分科会】

「特別支援コーディネーターの役割と実践」というテーマで討議が進められた。島根県のにこにこサポート、出雲市のスクールサポーター、山口の県と市が補助をしあつて行う特別支援補助員制度、徳島の大学生ボランティアによる支援などの例が紹介された。また、コーディネーターの忙しい様子、県・学校の体制、コーディネーターの二名体制、地域コーディネーターなど、様々な情報交換がなされた。

【健康教育分科会】

多職種の教職員が集まって、それぞれの立ち場から、栄養教諭の配置状況、家庭との連携の仕方、行政への働きかけ、食に関わる地域・家庭との連携など、熱心に話し合いが行われた。

【生徒指導分科会】

A、B、Cの三つのグループに分かれて、討議を行った。それぞれのグループで、ネット上のモラルについて、問題を抱える子どもの対応、組織の連携、子どもの実態把握の仕方などが話し合われ、中長期的な展望と今すぐ取り組むことから規範意識の向上をしていくことが大切であるとの意見が出された。



一般的に十月は神無月といわれるが、昔からここ出雲地方では、神在月と呼ばれている。これは、全国の神様が出雲に集まってくるという伝承に由来する。会員同士がここ出雲の地で交流を深めることができたことには、大きな意義があったと考えます。

ご参加くださった皆様、ありがとうございました。島教協、全日教連は会員の皆様のため、子供たちのために活動をしていきます。今後とも、ご協力・ご支援の程よろしくお願いいたします。

【参加者感想】

・島教協の皆様、本当にありがとうございました。出雲の町はやはり「落ち着いた神の町」だと感じました。

・あたたかいおもてなしの心が伝わってきました。ありがとうございました。

・教職員全体の資質向上に関する研修と専門分野の協議が持てたので、有意義であったと思います。

**署名・アンケート
にご協力いただき、
ありがとうございます。
ございました。**

今後の要望活動、講演会・研修会企画に活用させていただきます。



署名 2145筆

学校紹介

江津市立青陵中学校

日本海を一望できる高台に位置する江津市立青陵中学校は、全校301名の活気あふれる学校です。

夢をもち、日本一の学校をめざして、日々の教育活動を行っている。

確かな学力育成のための実践研究事業の推進校指定を受け、今年度が3年目。10月24日には、まとめとして研究発表を行う。

浜田市立浜田東中学校

浜田東中学校は、開講9年目を迎えた、素晴らしい校舎と生徒のいる学校です。全校生徒194名の中規模の学校ですが、部活動、生徒会活動など熱心に行っています。また、元気のよいあいさつもできる生徒たちばかりなので、近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

11/2 (金) メデシミア教育研究発表大会
2/3 (日) ふるさと教育フェスティバル